

# LINEアカウントの乗っ取りについて



最近、LINEのアカウント(ログインするための権利)を乗っ取られ、LINE上の“友達”にWeb Moneyカード等の購入と、そのプリペイド番号の送信を要求され、当該Web Money等の利用権を騙し取られるという被害が急増しています。  
LINEは友達関係を中心とした連絡手段として普及しており、グループ内や“友達”間という相手との信頼関係を悪用した手口です。

## ◎ LINEとは

LINEはLINE株式会社が提供する無料通話・無料メールアプリで、「トーク」などの機能を利用して、手軽にグループ内や友達間でメッセージや画像データのやりとりができることから、広く普及しています。

また、LINEには、LINEアカウントに登録されたメールアドレスとパスワードを入力することで、1つのアカウントをスマートフォンやパソコン、タブレット端末など複数の種類の端末で利用することができる機能(マルチデバイス機能)もあります。



トーク画面

## ◎ 乗っ取りの手口

他のサービスから流出したメールアドレスやパスワードを利用して不正アクセスを行う「リスト型アカウントハッキング」という手口が用いられています。

LINEでは、メールアドレスとパスワードがあれば、携帯電話の機種交換時のアカウント引継機能や、上記のマルチデバイス機能を悪用することで、アカウントを容易に乗っ取ることが可能になります。

(※ いずれの乗っ取り行方も、本来の利用者がLINEの「メールアドレス登録」を行っていることが必要になります。)

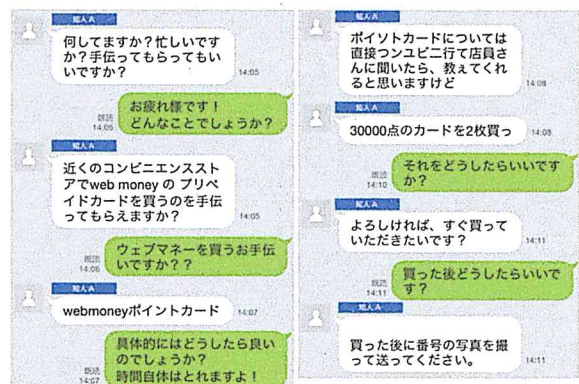
アカウント引継機能でアカウントを乗っ取られた場合は、アカウント情報が新規端末に引き継がれたこととなるため、正規利用者が利用している端末では当該乗っ取り被害に遭ったLINEアカウントにはアクセスできなくなります。

マルチデバイス機能でのアカウント乗っ取りの場合は、別の種類の端末での利用が許可されたという状態になるだけですので、正規利用者が従来のLINEアカウントにアクセスすることは可能なままであり、乗っ取りの被害の認知が遅れる場合があります。

## ◎ 被害状況

犯人は乗っ取ったLINEアカウントを利用して、利用者が登録している“トークの参加者”や“友達”に対して、「Web Moneyカード等を購入し、そのカード等に記載されているプリペイド番号をカメラ機能で撮影して、送ってほしい。」などと依頼します。

犯人は、そのプリペイド番号を利用サイト等で入力してWeb Moneyの利用権を取得し、商品を購入したり、サービスの提供を受けたり、現金化したりします。



やりとりの一例

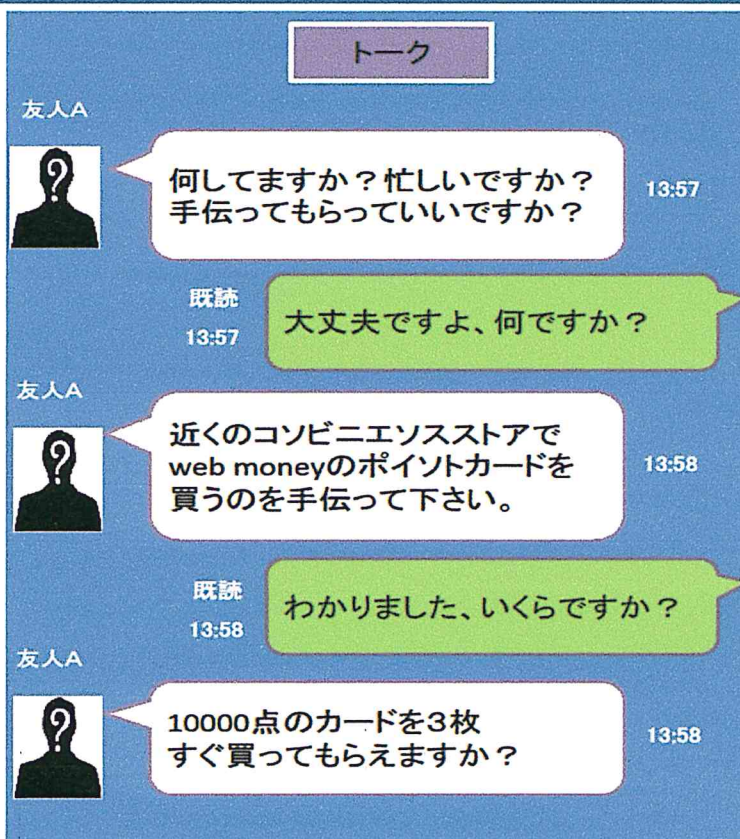
## ◎ 対策

- ・ パスワード等を複数のサービスで使い回さない。
- ・ パスワードを使い回している場合は、すぐにパスワードを変更する。  
(「その他」→「設定」→「アカウント」→「メールアドレス登録」→「パスワードの変更」で変更)
- ・ スマートフォンのみで利用する場合は、「他端末ログイン許可」の設定をオフにしておく。(「その他」→「設定」→「アカウント」→「他端末ログイン許可」をオフにする)

その**Web Money**の購入は、  
本当に友達から頼まれたものですか？

最近、LINEなどで「Web Moneyを買って欲しい」「Web Moneyの番号を写メで送ってほしい」などと友達になりすました犯人から頼まれ、Web Moneyをだまし取られる被害が発生しています。

本当に友達からの頼み事か、直接確認してください。



こんなやりとりでは  
ありませんでしたか？  
日本語がおかしくありま  
せんでしたか？



京都府城陽警察署生活安全課

TEL 0774-53-0110